



子どもを育む まちづくり

小児医療助成(通院分)を中心学生まで拡充

小学生までが受給対象となっている通院分の小児医療費助成を中心学生まで拡充します。

幼稚園・学校教室への エアコン設置とトイレの洋式化

児童生徒のより良い学習環境を整えるため、幼稚園・小中学校の教室へエアコンを設置します。

児童生徒の健康を守るため、小中学校のトイレを和式から洋式へ改修し、学校トイレを快適な空間にします。

少人数学級(40人未満)の拡大

生徒一人ひとりに、しっかり目配りでき、子どもたちの確かな学力や豊かな心をはぐくむことができる少人数学級を拡大します。



部活動外部指導者の積極的な活用

生徒が正しい技術を学ぶことにより、充実した部活動を送れるよう、顧問のサポートと専門的な技術指導ができる部活動外部指導者を積極的に活用します。

青少年をサイバー犯罪から守る

インターネット上のルールやマナー・身を守る術など、情報コミュニケーション技術を正しく学ぶことのできる学習機会を広く実施します。



健やか安らぎ まちづくり

(支え助け合い活動) 小地域福祉活動への積極的な支援

地域住民による高齢者・要援護者のための見守り・声かけや交流・仲間づくりなどの小地域福祉活動を積極的に支援することにより、その輪を広げます。



高齢者サロンづくり

高齢者の交流の場や地域での見守り・支援の拠点として、小中学校の空き教室などを有効活用した高齢者サロンづくりに取り組みます。



地域防災力の強化

自主防災体制の見直し

地域の災害時に想定される問題や課題を洗い出し、地域の実状に合わせた事前・事後の備えや、いざという時の動きを明確にするため、各地域の自主防災体制の見直しに取り組みます。

防災隣組の編成

自主防災組織の中に、向こう三軒両隣(自治会の組より小さな単位)でつくる防災隣組を編成し、いざという時はもちろん、お互いの見守りなどを通じて近所付き合いを深め、人と人との助け合いの心を育みます。

浸水モニター制度の導入

水害発生の予兆や被害状況を早期に発見するため、自宅から河川の見える市民に浸水モニターとして登録をしてもらい、浸水予兆や被害状況を市の災害対策本部に情報提供してもらう浸水モニター制度を導入します。

東京オリンピック パラリンピック キャンプ誘致事業の実施

2020年東京オリンピック・パラリンピックに参加する各チームのキャンプを小田原に誘致し、スポーツの振興とともに、選手と青少年との交流や小田原の魅力を紹介するため、東京オリンピック・パラリンピックサポート事業を実施します。



活気あふれる まちづくり

室内プールの建設

市民の健康増進や家族とのふれあいを深める施設として、県内各市に設置されている室内プールは、小田原市では整備計画はありません。まずは室内プールの必要性と市民のニーズを訴え、建設に向けた機運を盛り上げていきます。

自治会加入率の向上

ふれあい活動などをとおして地域の連帯感を高め、住みよい地域をつくっていくための、もっとも身近な住民組織のひとつである自治会への加入率向上に向けた調査研究を行い、その結果を報告します。

生涯スポーツの振興

多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境整備と情報提供を充実させるため、市民スポーツ推進の中心的役割を担っている小田原市体育協会の財政基盤を強化します。



商店街の活性化

市民の台所であり、日常生活の中のふれあい交流の場でもある商店街が実施する継続的な集客促進、需要喚起、体質強化などの取り組みを支援することにより、商店街を活性化します。



地場産業の振興

伝統的な小田原固有のものづくり文化と優れた技術を活用した小田原ブランドの確立や匠の技の継承を支援することにより、地場産業を振興します。

